

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------|---|-----------------|
| ○事業所名 | アートチャイルドケアSEDスクール岡山豊成 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 10月 15日 | | ～ 2025年 10月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 2 | (回答者数) 2 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 10月 15日 | | ～ 2025年 10月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 1 | (回答者数) 1 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2025年 10月 15日 | | ～ 2025年 10月 31日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 2 | (回答者数) 2 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 12月 19日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 保育所等訪問支援と児童発達支援の併用により、お子さまの様子や支援内容を双方で共有することで一貫した支援に繋がっている。 | ・園と児童発達支援それぞれの場所でのお子さまの成長・発達や課題について相互に活かすことで、より効果的な支援に繋がっている。 ・訪問日には、訪問先と支援方法やお子さまの様子など情報共有する時間を設けている。 | 訪問先と定期的に情報交換や支援の方向性を共有・検討する機会を増やし、共通理解を図っていくことで、より効果的で質の高い支援へと繋げていく。 |
| 2 | 園訪問の報告を兼ねた家族支援で、園でのお子さまの様子や支援の方向性について丁寧に伝え、園と家庭と事業所で総合的な支援を行っていること。 | 家族支援のなかでご家族から、家庭での困りごとやお子さまの変化なども聞きとらせていただき、訪問時の支援内容に反映させている。 | 今後も、支援の方向性について園と家庭と事業所とで密に話し合い、共通理解を深めお子さまへの支援に返していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 系列園以外の保育所等訪問支援の実施が進んでいないこと。 | ・系列園以外の園に対して保育所等訪問支援を知ってもらう機会が少ないため。 ・訪問支援員の人員確保が難しいため。 | ・関係機関連携の際、保育所等訪問支援について説明を行い、周知を図る。 ・体制が整い次第、訪問支援員の配置を増やしていく。 |
| 2 | 保育所等訪問支援事業についての内容や利用方法について、保護者さまに周知しきれていないこと。 | 契約時に説明はしているが、利用方法、サービスの目的やメリットなどが伝わりにくく利用に繋がりにくいこと。 | 改めて振り返りや家族支援のなかで、保育所等訪問支援事業について説明する機会を増やし、周知できるようにしていく。また、訪問事例や効果についても合わせて伝えることでイメージしやすいようにする。 |